

大塚山公園周辺にお住まいの皆様へ

# 大塚山公園拡張整備 第3回検討会ニュースレター

目黒区では、大塚山公園の未供用区域の土地を取得し、公園の拡張整備を行うこととなりました。公園拡張整備に向けて、今年度は住民検討会（全3回）を開催し、地域の皆様と意見を交換しながら整備内容をまとめてまいりました。

**計画地**  
目黒区立大塚山公園(拡張部)  
(目黒4-5-31)

目黒区立大塚山公園(既存部)

今後の予定

第1回検討会 (整備方針の検討、 現地見学会)	令和7年6月28日	済
第2回検討会 (施設の検討)	令和7年8月30日	済
第3回検討会 (整備内容の確認)	令和8年1月31日	済
整備工事・開園	令和8年度以降予定	



## 第3回検討会を開催しました！

令和8年1月31日（土）に大塚山公園の拡張整備内容を考える、3回目の検討会を開催しました。第3回は

### 「計画案を確認しよう」

というテーマで、今までの検討会や意見、アンケート結果から整備計画案とイメージ図をオープンハウス形式で提示しました。

（オープンハウス形式とは、着座による検討会とは異なり、展示パネル等にて資料を提示し、開場時間内に来場された方々が自由に見学できる場を設ける手法です。）



当日は21名の方にご来場いただき、計画案やイメージ図をご覧いただきながら、さまざまなご意見をいただきました。ご参加いただいた皆様、ご意見をいただきありがとうございました。

### 第3回検討会の様子

初めて来場した方でもこれまでの検討の経緯が分かるように、公園拡張整備に至った経緯から第1回と第2回の検討会及びアンケート実施、実態調査を経ている流れが分かるボードを設置しました。今までの検討、意見を踏まえた最終的な整備計画案及び鳥瞰イメージを見ていただき、対話形式でご質問、ご意見を伺いました。

### 検討会で出た意見の一覧

- ・ 斜面を有効活用しているのが良い。
- ・ 楽しみです。維持管理に手間・コストがかかりすぎないようにお願いします。
- ・ 水飲みや散水栓がほしい。
- ・ 3つ目の平均台＋スロープ遊具は子どもに人気が出るのでは？
- ・ レインガーデンやビオトープのような施設があるとみどりの斜面なども合うと思う。
- ・ ビオトープを小規模でも良いのでほしい。
- ・ 公園工事に合わせて、緑道もきれいに改善してほしい。
- ・ 大人も子どもも遊べるように、健康遊具を増やしてほしい。  
健康遊具があると、使い方のレクチャーなどコミュニケーションが生まれる。
- ・ 幼児も遊べるものがあるとよい。
- ・ 背もたれベンチがほしい。
- ・ かまどベンチがほしい。
- ・ ボール遊び禁止の看板がほしい。
- ・ ボール遊び場は残してほしい。
- ・ どうしてボール遊びがダメなの？
- ・ 暑さ対策、日影・木陰がほしい。

検討会写真



### 今後について

第3回検討会やこれまでの検討会で使用した資料は目黒区公式ウェブサイトで見られます。

右の二次元コードから掲載ページにアクセスしてください！

検討会は第3回の開催をもって終了となります。

たくさんのご意見ありがとうございました。いただいたご意見をもとに整備計画案を検討していきます。

今後、計画案を掲載した第4回ニュースレターを5月頃発行予定です。

何かご意見等があれば問い合わせ先までご連絡ください。



### 【お問い合わせ先】

目黒区役所 都市整備部 みどり土木政策課 施設整備係 担当：柿崎、伊藤

電話：03-5722-9753 ファックス：03-3792-2112

メール：midoridoboku07@city.meguro.tokyo.jp

# 第3回検討会で提案した計画案・イメージ図～これまでの地域の皆様の意見とアンケートの結果を踏まえ提案しました～

## A: 憩いの広場ゾーン

季節感のある落葉樹を中心とした疎林の広場にします。緑陰にベンチやデッキベンチを配置。花壇を備えたコミュニティの醸成の場所となります。

## B: みどりの斜面ゾーン

既存擁壁を撤去し、高低差を活かしたみどりの斜面に造成します。駆け上がったり、遊具遊びをしたり、木陰で休息したりなど、様々な利用ができます。

## C: 樹林ゾーン

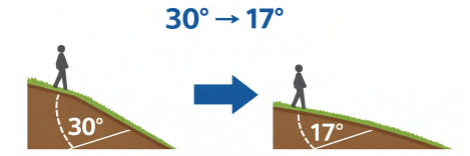
既存の土留めを撤去し、みどりの斜面と一体的に造成します。既存の大径木を残し、みどりを愛でながら木陰のデッキで休息ができます。

※計画案の計画中のものであり、変更が生じる場合がございます。

### 鳥瞰図

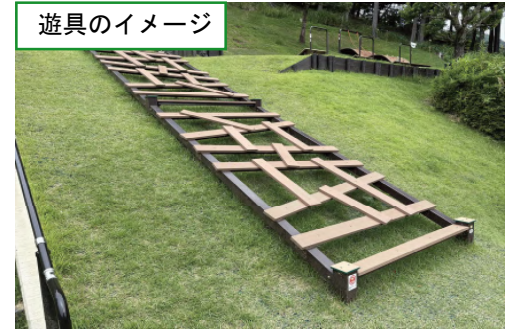


階段は踏面を広く設計し、手すりを設けて安全性と歩きやすさを両立します。



斜面の勾配を約30°から17°へ緩やかにし、安全に座ってくつろげる空間に。高低差を活かしたアスレチック遊具も設置。

### 遊具のイメージ



ボール遊び場はアンケートでは要望が多かったが、これまでの検討会やアンケート調査、現地調査、そして近隣住民の生活環境の観点を変えて踏まえ、総合的に検討した結果、今回は設置しないこととしました。

近隣へ配慮し、地盤は上げずに既存部とはバリアフリー基準を満たしたスロープと階段でつなぎます。広場は、緑の景観に合う自然の風合いのあるナチュラルな土系色の舗装にします。

可動式のプランターベンチを設置し、休息機能を拡充。地元町会の防災訓練時には、鍵を外して移動できます。

### プランターベンチのイメージ

